



— 改善で切り拓く未来 —

全日本物流改善事例大会2019

開催のご案内



会期

2019年 5月14日(火)・15日(水)
10:00 - 17:05

会場

御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター
sola city Hall



全国で取り組まれた26の物流改善事例が発表されます

主催

公益社団法人

日本ロジスティクスシステム協会

一般社団法人

日本物流資格士会



参加のご案内

グローバル化の進展、環境負荷軽減の推進、コンプライアンスの確保、人材・労働環境変化への対応など、企業経営を取り巻く重要な課題に対応したロジスティクスの構築が強く求められております。それは、ロジスティクスが、企業競争力の向上と企業価値向上に大きく貢献するからに他なりません。

ロジスティクスを効率的かつ効果的に機能させるのは、実質的な運営を司る物流現場です。企業経営にスピード、効率化が強く求められている現在、経営や市場等の環境変化に柔軟に対応できる物流の「現場力」が必要とされており、物流現場改善活動の推進は「現場力」を強化する重要な役割を担っております。

このような状況のもと、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会と一般社団法人日本物流資格士会では、物流における「現場力」をさらに高めるべく、優れた物流改善事例を相互に発表し、課題解決の手がかりやノウハウを共有していただくとともに、物流の実務者同士が集う情報交流の場となる「全日本物流改善事例大会2019」を開催いたします。

今大会では多数の応募事例のなかから選考された、26事例の優秀事例が2日間にわたって発表されます。物流改善に意欲的な取り組みを行っている事例の発表を通じて、各社の物流改善活動がさらに活性化することを期待しております。

関係各位の積極的なご参加をお待ちしております。

全日本物流改善事例大会2019 開催要領

目的 経済活動の多様化に伴い、物流機能における合理化のあり方も条件によって様々な取り組みがなされている。その結果、物流における優れた改善合理化のノウハウが多くの企業に蓄積されてきた。これを相互に発表し情報交換することは、物流改善活動の裾野を広げ、合理化のヒントを共有するうえで大きな意義がある。こうした状況を鑑み、「全日本物流改善事例大会2019」を開催する。

会期 **1日目：2019年5月14日(火)** / 10:00~17:05(セッションA・B・C・D)
2日目：2019年5月15日(水) / 10:00~17:05(セッションE・F・G・H)

会場 (両日とも) **御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター sola city Hall** / 東京都千代田区神田駿河台4-6

内容 物流の実務者による改善事例について、物流センター等での現場改善を対象とした「I. 物流業務部門」と運営・管理部門での改善を対象とした「II. 物流管理部門」の部門別に募集し、応募事例の中から選考された「優秀事例」を本大会にて発表いただきます。なお、優秀事例発表者にはクリスタルを贈呈いたします。

主催 **公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会**
一般社団法人 日本物流資格士会

全日本物流改善事例大会 実行委員会 委員名簿

委員長	成蹊大学	名誉教授	渡邊 一衛
副委員長	東京海洋大学	理事・副学長	黒川 久幸
委員	伊藤忠食品(株)	ロジスティクス本部 副本部長	高木 良二
//	SBSロジコム(株)	営業本部 次長 (日本物流資格士会)	三身 直人
//	(株)オカムラ物流	取締役 物流企画部 部長	松井 憲哉
//	(株)カスミ	ロジスティック本部 物流部 物流戦略担当マネジャー	齋藤 雅之
//	サッポログループマネジメント(株)	グループロジスティクス部 専任部長	木村 菊夫
//	山九(株)	ロジスティクス・ソリューション事業本部 企画部 部長	岩丸 克之
//	JILSアドバイザー		飯田 正幸
//	東芝ロジスティクス(株)	物流改革推進部 企画担当 参与	脇田 哲也
//	日本システムウエア(株)	ITソリューション事業本部 営業統括部 第一営業部 マネージャー (日本物流資格士会)	東川 喜之
//	日本通運(株)	ロジスティクスエンジニアリング戦略室 専任部長	中野 喜正
//	福島大学	理工学群 共生システム理工学類 准教授	寛 宗徳
//	本田技研工業(株)	生産本部 SCM企画部 主幹 物流部会ヘッド	鈴木 勝
//	三菱地所リアルエステートサービス(株)	企業不動産三部 次長 (日本物流資格士会)	堀川 亮一
//	三菱電機(株)	生産システム本部 ロジスティクス部 企画グループ 専任	安藤 直明
//	村田機械(株)	L&A事業部 営業企画室 室長	根尾 佳珠 機
//	ロジスティクス エンジニア オフィス 茅ヶ崎	代表 (日本物流資格士会)	藤巻 敬

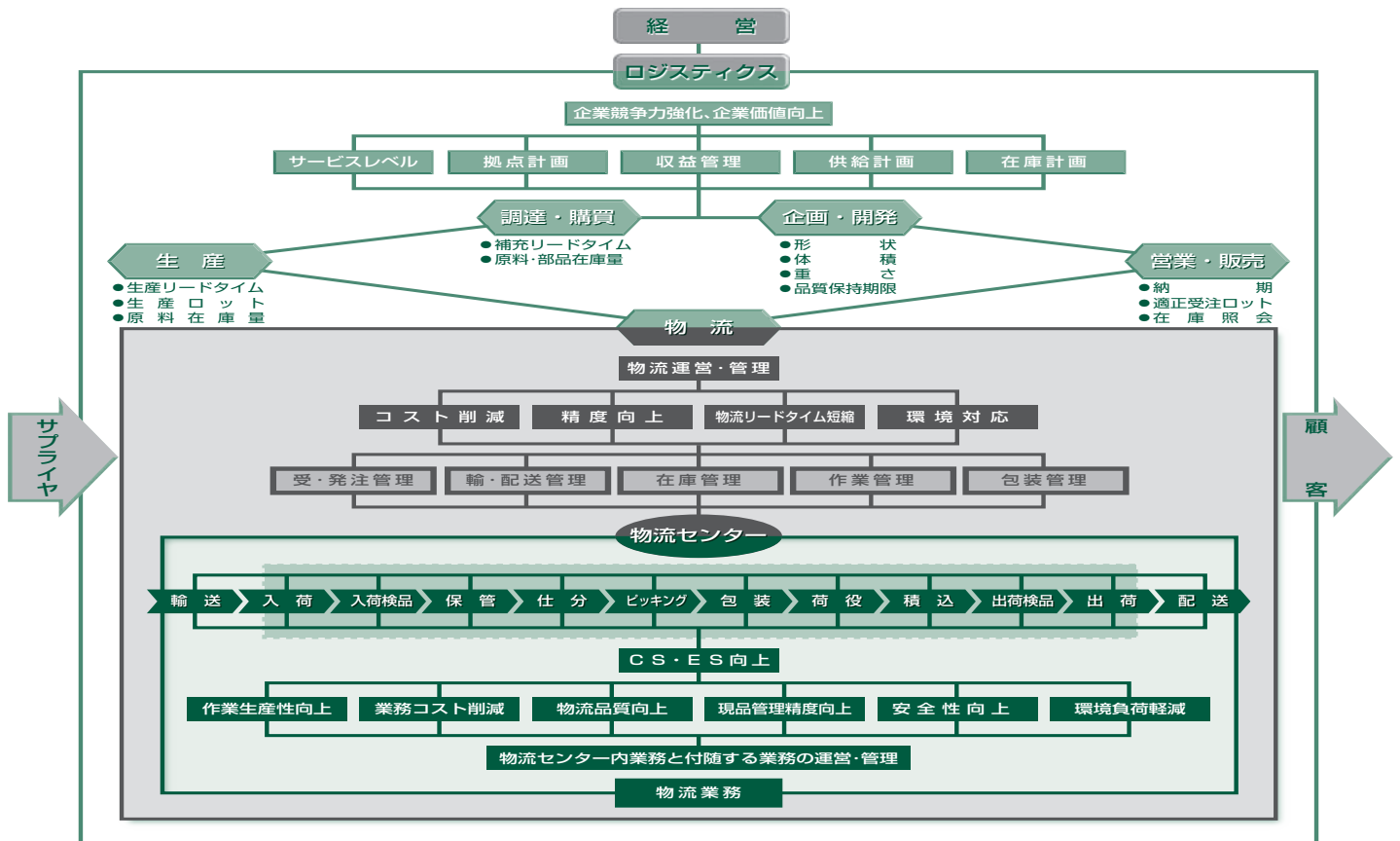
2019年2月現在 (順不同・敬称略)

物流合理化賞

全日本物流改善事例大会 実行委員会では、大会でご発表いただいた優秀事例を審査のうえ「物流合理化賞」および「物流合理化努力賞」を決定し、2019年6月開催の当協会定時総会の席上で表彰式を行います。受賞企業には**正賞(表彰状)**と**副賞(賞金)**を授与いたします。また、受賞企業は、当協会のホームページ、機関誌「ロジスティクスシステム」で発表いたします。

改善対象について

日本ロジスティクスシステム協会では、「ロジスティクス」「物流」「物流業務」の3領域に区分して、「ロジスティクス」を構成する1つの業務を「物流」とし、「物流」の中で物流センター内業務と付随する業務を「物流業務」としています。「全日本物流改善事例大会2019」では、「I. 物流業務部門」と「II. 物流管理部門」における改善事例を募集、その中から優秀事例に選ばれた事例を部門別に発表いただきます。



発表部門について

	I. 物流業務部門 (物流センター等での現場改善)	II. 物流管理部門 (運営・管理部門での改善)
対象範囲	ひとつの作業所 (現場) で完結する小集団が対象	複数の物流業務および工程を統合した範囲が対象
対象業務	輸送、入荷、検品、保管、仕分、ピッキング、包装、荷役、積付、出荷、配送	受・発注管理、輸・配送管理、在庫管理、作業管理、包装管理
関係部門	物流センター等	物流部門等
役割	作業生産性向上、業務コスト削減、物流品質向上、現品管理精度向上、安全性向上、環境負荷軽減等	コスト削減、精度向上、物流リードタイム短縮、環境対応等

各部門における事例

I. 物流業務部門 (物流センター等での現場改善)	II. 物流管理部門 (運営・管理部門での改善)
<ul style="list-style-type: none"> ○庫内作業の改善例 <ul style="list-style-type: none"> ・ピッキングリストや棚表示、ピッキング作業の改善 ・人員配置の改善によるピーク時対応や負荷の標準化 ・荷役機械、保管設備、パレット、容器、情報端末等の改善 ・出荷頻度や取扱製品に応じた保管、配置方法の改善 ・作業環境、作業方法の改善 ・包装作業の改善 ○輸配送の改善例 <ul style="list-style-type: none"> ・復路輸送の空荷防止などによる収益の向上 ・誤出荷、誤納の減少 ・トラックの積載率、回転率、運行効率の向上 ・トラックの滞留・積載時間の短縮 ○輸出・輸入業務の改善例 <ul style="list-style-type: none"> ・港湾、空港など輸出入物流拠点における業務改善 ・コンテナ輸送における物流の効率化 ・通関業務における事務作業の改善 等 ○テクノロジーを活用した改善例 <ul style="list-style-type: none"> ・省人化機器 (ロボティクス)・IoT・AIの活用による効率化・改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○物流システムの改善例 <ul style="list-style-type: none"> ・物流拠点の統合・再配置による改善 ・事前出荷情報の取得と活用による改善 ・国内・海外物流拠点間輸配送の改善 ・港湾地区における渋滞への対応 ・IT・IoT活用による効率化、業務改善 ・物流に配慮した包装設計 ・パレット、包装資材の環境対策 ○管理系 (取引条件等) の改善例 <ul style="list-style-type: none"> ・納期回答の迅速化 ・取引条件の変更による改善 ・物流変動に合わせた作業体制の構築 ・在庫の適正化 等
<p>物流全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境対応、環境負荷の低減を目指した活動 ・CSの向上 (クレームの減少) ・災害対応について (震災・水害等) ・教育訓練によるモラル・モチベーションの向上 ・労働力不足への対応 ・労働環境改善、働き方改革 	

※日本企業の海外現地法人での改善事例も対象です。

大会1日目：2019年5月14日(火)

10:00~10:15	【実行委員長挨拶】 渡邊 一衛 氏	全日本物流改善事例大会実行委員会 委員長 成蹊大学 名誉教授
-------------	-------------------	-----------------------------------

セッションA	<コーディネータ> 木村 菊夫 氏 サッポログループマネジメント(株) グループロジスティクス部 専任部長 中野 喜正 氏 日本通運(株) ロジスティクスエンジニアリング戦略室 専任部長
---------------	--

発表① 入荷車両待機時間削減に向けた改善活動報告		
10:20 }	コクヨサプライロジスティクス株式会社 CSオペレーション部 首都圏IDC 上谷 弘行 氏	【改善事例における主な取り扱い製品】 コクヨ株式会社・関連会社取扱商品（文房具・日用雑貨等） 文房具、日用雑貨を取り扱う物流センターにおいて、入荷車両に最大約3時間の待機時間が発生していた。ドライバーの長時間労働や人材不足が深刻な社会問題となる中、改善活動に取り組み、運行管理データを基に長時間の荷卸し作業がかかる車両を調査し、スケジュール納品、入荷バース拡張、手卸し納品からパレット納品への変更などの施策を実施、入荷車両待機時間の削減に成功した。
発表② 「顧客感動の取り組み」～自分たちのための改善活動から納品業者様のための改善活動へ		
10:40 }	SBSロジコム株式会社 土浦支店 カスミ中央流通センター ドライ業務担当 天野 貢 氏	【改善事例における主な取り扱い製品】 グロサリー常温商品 量販店流通センターのグロサリー部門を扱う物流現場において、標準作業時間設定や業務習得度チェック表の運用による業務レベルの向上、作業項目の集約化による作業時間の短縮、デイレーストアプランの整備による日々・月次のレイバースケジュール化を実施、また構内検収者を「コンシェルジェ」、商品納入業者様を「お客様」と位置づけ、その要望等への的確な対応を実現した。
発表③ ピッキング導線・入庫表示紙・チーム編成見直しによる作業効率UP		
11:00 }	アサヒロジ株式会社 名古屋支社 小牧支店 名北営業所 主管 松岡 和夫 氏	【改善事例における主な取り扱い製品】 靴 荷主の最盛期に基準作業量を超える注文が入り、荷主の求める出荷作業をこなせない状況に陥った。生産性が上がらない要因を人・物・方法の観点から分析し、ピッキング導線の変更、入庫表示紙や作業チーム編成の見直しを行った結果、出荷足数15%UP目標を達成、人件費率も10.5%改善されたほか、作業員の多能化も進み、現場の団結力も向上した。
11:25~11:30 コーディネータ コメント		
11:30~11:40 休憩		

セッションB	<コーディネータ> 東川 喜之 氏 日本システムウエア(株) ITソリューション事業本部 営業統括部 第一営業部 マネージャー 寛 宗徳 氏 福島大学 理工学群 共生システム理工学類 准教授
---------------	--

発表④ 作業環境の大幅改善による生産性の向上		
11:40 }	山村ロジスティクス株式会社 東日本営業本部 3PL推進部 市川営業所 所長 藤林 正幸 氏	【改善事例における主な取り扱い製品】 小売ストア向け日配食品 小売ストア向け日配食品の仕分け業務について、今後、新店舗の増加も見込まれる中、作業生産性の向上が課題となっていた。そこで、ライン数の削減や、作業動線を建屋に添った配置に変更する等、作業の効率化を図った結果、仕分け業務の時間短縮やスムーズな動線の確保を実現、目標としていた生産性を達成することができた。
発表⑤ 棚搬送型AGVと現場見える化システム導入による省人化オペレーションの構築		
12:00 }	株式会社日立物流 ロジスティクスソリューション開発本部 ロジスティクステクノロジー部 主任技師 藤田 康宏 氏	【改善事例における主な取り扱い製品】 アパレル・医薬品 人手不足に対応するため、少人数での作業構築、ムダのない人員配置による省人化を目指した。棚搬送型AGVの導入、前後作業である棚への格納品や検品ラインへの搬送についてもPLT搬送AGVやコンベアを導入することで、作業者の運ばないを実現した。また、経験と勤に頼っていた人員管理に現場の見える化システムを導入した結果、従来の30%の省人化を達成した。
発表⑥ 実装業務における不足部品の事前発見による工数削減～助け合い精神から生まれた改善～		
12:20 }	ロジスティクスオペレーションサービス株式会社 長野営業所 山田 和弘 氏	【改善事例における主な取り扱い製品】 ノートパソコン部品 工場における生産台数増加と人員不足により残業が更に増加していく見込みとなっていた。既存人員対応を理想とし、残業時間＝工数削減を課題とし改善活動を実施。不足部品にかかる工数の影響が大きいことを発見し、部品在庫調査シート等を作成し、不足部品が出ない仕組みづくりを行った。これにより、119分の作業工数削減に成功し、年間1,824,600円の改善効果を得られた。
12:45~12:50 コーディネータ コメント		
12:50~13:50 休憩		

セッションC		<コーディネータ> 齋藤 雅之氏 (株)カスミ ロジスティック本部 物流部 物流戦略担当マネジャー 岩丸 克之氏 山九(株) ロジスティクス・ソリューション事業本部 企画部 部長	
発表⑦ 荷渡し業務改善による運送会社待ち時間の削減			
13:50	サンコーインダストリー株式会社 物流部 商品課 主任	田中 勇一氏	【改善事例における主な取り扱い製品】 ねじ工具締結部品 運送会社への荷渡し業務で出発までに時間を要していた。そこで、出荷時間や物量を考慮したレイアウトの変更や、ミス対応マニュアルや運送会社ごとの特徴表の作成、荷札ラミネート配置による置き間違い予防を行うほか、リアルタイムでの進捗管理画面の開発などを行い、運送会社の出発までの時間を平均33分から20分へ短縮、荷渡しミスを33%削減し、運送会社の満足度も向上した。
14:10	ブリヂストン物流株式会社 中日本支社 彦根第二事業所	木村 大輔氏	【改善事例における主な取り扱い製品】 タイヤ 販売会社の営業活動支援策の一環として、製品の店舗直送化を進めてきたが、年々直送量が増加、路線便出荷が増えることにより、コストや配送トラブルも増加していた。路線便から貸切便への移行を進める中、トラックの長時間待機や間口の狭い店舗配送等の問題が発生したが、荷積時間の分散化や小型車の増車等により課題解決を進め、路線便出荷量を前年比-30%とすることに成功した。
発表⑧ 物流効率改善によるCS向上～路線便削減で物流品質の向上とコストダウンの実現～			
14:30	東芝ロジスティクス株式会社 関西支店 TLロジサービス株式会社 関西営業所 2階エリア長	神谷 知孝氏	【改善事例における主な取り扱い製品】 家電製品 作業不足を他エリアの作業員応援でやり繰りしてきたが、現場リーダーの負担が大きく時間外労働が増加していた。作業分析により、各作業の中で能力別に必要な業務を分類・集約し、効率的にその業務に人員配置が図れるようプロセスを構築した。結果、離職率の高い状況の中で生産性を改善し、時間外労働の削減に成功した。
発表⑨ リソースの最適配分化に向けたプロセス再構築			
14:50	東芝ロジスティクス株式会社 関西支店 TLロジサービス株式会社 関西営業所 2階エリア長	神谷 知孝氏	【改善事例における主な取り扱い製品】 家電製品 作業不足を他エリアの作業員応援でやり繰りしてきたが、現場リーダーの負担が大きく時間外労働が増加していた。作業分析により、各作業の中で能力別に必要な業務を分類・集約し、効率的にその業務に人員配置が図れるようプロセスを構築した。結果、離職率の高い状況の中で生産性を改善し、時間外労働の削減に成功した。
14:55～15:00		コーディネータ コメント	
15:00～15:15		コーヒープレイク	

セッションD		<コーディネータ> 安藤 直明氏 三菱電機(株) 生産システム本部 ロジスティクス部 企画グループ 専任 根尾佳珠機氏 村田機械(株) L&A事業部 営業企画室 室長	
発表⑩ 人の意識・行動に特化した安全教育活動			
15:15	ホンダロジコム株式会社 物流事業本部 リーダー	服部 慶子氏	【改善事例における主な取り扱い製品】 衛生機器の庫内物流における安全教育の改善 従来から安全教育を定期的実施していたが、グループ全体の業務上災害は削減されなかった。災害を分析した結果、個人の行動に起因する災害が多かったことから、作業中の危険に対する感受性や取行性に関するアンケートを実施。作業員を危険認識度や行動面で4タイプに区別し、タイプ別に異なる方法で教育を行うことで、安全意識の向上を図った。
15:35	ジヤトコ株式会社 生産部門 生産管理部 SCM推進部 SCM推進課	加納 真己氏	【改善事例における主な取り扱い製品】 乗用車用変速機構部品 生産工程が複数工場にまたがるため、内製部品のトラックによる工場間輸送が発生していたが、そのルートは長年のカン・コツにより作成したものであった。そこで、生産計画に基づく出荷データによる輸送ルートの再構築を実施。輸送荷量に基づいた配車台数の決定プロセスを構築した結果、運行トラック台数を20%削減、運転手の拘束時間も19年4月までに10%削減する見込みとなった。
発表⑪ 工場間内製部品輸送の原低活動の推進			
15:55	株式会社オカムラ物流 オフィス第一支店 サポートセンター CS担当	佐久間 一輝氏	【改善事例における主な取り扱い製品】 オフィス用什器 机・椅子など 営業部門からの物流に関する依頼・問い合わせ窓口としてサポートセンターを発足させたが、営業と物流の部門間で様々な問題が慢性化していた。そこで、【依頼書のデータベース化】【依頼フォーマットの統一】【配送との連携】【車両情報の回答】に着手することで、営業担当・配車担当の業務負担の削減だけでなく、営業・物流間に新たな繋がりができることで、連携を取りやすい体制を構築した。
16:15	株式会社スバルロジスティクス CKD事業本部 CKD生産企画部 CKD技術課	高橋 洸太氏	【改善事例における主な取り扱い製品】 現地サプライヤー向け支給自動車部品 コンテナ積載においてノーマルコンテナを優先利用していたことから、容器モジュールもノーマルコンテナを前提としていた。そのためHQコンテナ使用時には高さ方向に空きが生じ、輸送効率上のロスを持っていたが、将来的に全点HQコンテナに移行させることを鑑み、容積勝ちである支給部品の梱包・輸送を対象に新規モジュールを設定した結果、輸送費、作業費において原価低減を実現した。
16:45～16:50		コーディネータ コメント	
16:50～17:05		【全体講評】 黒川 久幸氏 全日本物流改善事例大会実行委員会 副委員長 東京海洋大学 理事・副学長	

※発表者、テーマは都合により変更になる場合がございます。

大会2日目：2019年5月15日(水)

10:00~10:15	【実行委員長挨拶】 渡邊 一衛 氏	全日本物流改善事例大会実行委員会 委員長 成蹊大学 名誉教授
-------------	-------------------	-----------------------------------

セッションE	<コーディネータ> 鈴木 勝氏 本田技研工業(株) 生産本部 SCM企画部 主幹 物流部会ヘッド 藤巻 敬氏 ロジスティクス エンジニア オフィス 茅ヶ崎 代表
---------------	---

発表⑭ 365日稼働の現場改善で作業効率アップ!		
10:20 }	日本ロジテム株式会社 鶴ヶ島営業所 リーダー	【改善事例における主な取り扱い製品】 食品 (惣菜) 以前より改善すべき課題は持っていたが、現場は365日稼働という状況のため、改善に踏み切ることができなかった。大規模な在庫管理システム変更をきっかけに、入庫バスや出荷仮置場、ピッキングエリアなどの大幅なレイアウト変更や使用搬送機の変更を行うことで、移動距離を短縮し、ロケーションを見える化することで、生産性は約9%増、総労働時間を月間平均607時間削減した。
10:40	村上 隆俊 氏	
発表⑮ 集品作業効率の向上 間接作業工数 (MH) の削減		
10:40 }	山村ロジスティクス株式会社 西日本営業本部 西日本第一営業部 茨木営業所 所長	【改善事例における主な取り扱い製品】 大手アパレルメーカー製品 アパレル製品の集品作業の効率化に向け、集品と補充に係る時間短縮に着目し、基準生産性と目標値を設定した。さらに集品作業工程の削減、搬送・梱包作業のサポート体制の見直し、全エリア同一ホワイトボードによる生産性管理の導入等を進めた結果、取り組み前と比べ約33%の生産性向上を達成した。
11:00	石田 翔平 氏 物流現場改善士 (8期)	
発表⑯ ICT活用による物流センター出荷作業の同期化		
11:00 }	TOTO株式会社 グローバル物流技術開発グループ	【改善事例における主な取り扱い製品】 衛生陶器・水栓金具等 物流センターの出荷作業において、発送・出庫職域での作業進捗が揃っていないことから出荷待機場で製品の滞留が発生していた。そこで、各出庫職域の能力を是正するため、全職域統一の目標時間や各出庫職域の能力を設定、また全出庫職域と発送職域の進捗を合わせるため作業人員の投入管理を行った。その結果、各出庫職域の作業時間を削減、仮置場の縮小、仮置きハンドリング削減を達成した。
11:20	平櫻 興生 氏	
11:25~11:30	コーディネータ コメント	
11:30~11:40	休憩	

セッションF	<コーディネータ> 脇田 哲也氏 東芝ロジスティクス(株) 物流改革推進部 企画担当 参与 堀川 亮一氏 三菱地所リアルエステートサービス(株) 企業不動産三部 次長
---------------	--

発表⑰ バラ出荷エリア生産性向上に向けた取組み		
11:40 }	コクヨサプライロジスティクス株式会社 CSオペレーション部 CS推進ユニット 近畿IDC運用グループ	【改善事例における主な取り扱い製品】 コクヨ株式会社・関連会社取扱商品 (文房具、日用雑貨等) 1オーダーあたりの行数低下や取扱品番増加による作業動線が長くなっていることが原因となり、生産性が悪化していた。そこで、庫内パートナーとともに台車やオリコンなどの設備変更や、ピッキング投入ラインマスタによるピッキング動線の最適化、オリコン自動読み取り機の設置など現場の最適化を行うことで、作業負荷が軽減し、生産性の向上を実現した。
12:00	大谷 文菜 氏	
発表⑱ 危険を常に意識した作業への誘導、危険予知マップの作成 期待される効果：事故未然防止効果		
12:00 }	ロジスティクスオペレーションサービス株式会社 北日本物流部 本宮営業所	【改善事例における主な取り扱い製品】 電池原材料 労働力不足による営業所員への業務負荷から、重大事故の発生が増加傾向を辿っていた。そこで、事故発生件数から今後の事故予測を立て、事故への意識を高めるほか、危険箇所アンケートを実施し、ハザードマップを作成することで物損事故の未然防止へ取り組んだ。その結果、事故にかかるコストを年624,000円削減し、改善活動を他の営業所へ横展開することとなった。
12:20	我妻 福人 氏	
発表⑲ IE手法を用いた自転車組立および庫内移動の改善		
12:20 }	日通・パナソニック ロジスティクス株式会社 神戸化推進室 参事	【改善事例における主な取り扱い製品】 自転車 自転車物流を新規受託するも、車体の組立や完成車の出荷場所への移動 (一度に2台のみ) など生産効率が課題であった。そこで"IE手法"を用いて作業からムダな動作や時間を洗い出し、改善を行った。また作業効率を上げる為に治具の開発・導入や作業の"標準化"を図る為に動画による作業手順書を作成した。改善活動の結果、組立作業時間を56%、庫内移動時間を44%削減した。
12:40	向畑 和重 氏	
12:45~12:50	コーディネータ コメント	
12:50~13:50	休憩	

セッションG

<コーディネータ> 高木 良二氏 伊藤忠食品(株) ロジスティクス本部 副本部長
三身 直人氏 SBSロジコム(株) 営業本部 次長

発表⑳ 改善の積み重ねによる荷役粗利率改善	
13:50 株式会社オカムラ物流 商環境支店 14:10 綾瀬物流センター 業務課 データ管理担当	滝 直樹氏 物流技術管理士(108期)
【改善事例における主な取り扱い製品】 スーパー・コンビニ等の店舗用商品陳列棚 店舗用陳列棚製品を扱う物流センターでは、過去の改善により赤字体質から脱却するも、損益はまだ安定せず荷役粗利率の改善が必要となった。そこで、地方倉庫への多頻度出荷の見直しや、勤や経験によって決定していた前日の「先行ピッキング」件数の基準値の設定、事務所/現場の通信タブレットの導入等を実施し、荷役粗利率9%の改善を実現した。	
発表㉑ 軽便活用による輸送力確保とコスト削減	
14:10 株式会社ホームロジスティクス 栃木営業所 14:30	古河 拓実氏
【改善事例における主な取り扱い製品】 株式会社ニトリ取扱商品(ベッド、ソファ、タンス、食卓テーブル、キッチンボード等) 車輛や労働力不足に対応するため、家具配送の通例であるツーマン2トン車両に代わる配達手段として、軽便の2台併走による輸送力確保に取り組んだ。また、1日の配達分の全てを積載できないことで発生する営業所への「積み戻り」に着目し、店舗を物流拠点として活用することで配達時間・工数のムダを削減、1台当たりの宅配件数効率を向上させるとともに、コスト削減を実現した。	
発表㉒ 顧客信頼度向上に向けた3PL会社の物流現場改善推進	
14:30 サン インテルネット株式会社 座間センター センター長 14:50 座間センター 副センター長	井上 竜也氏 物流現場改善士(8期) 小野 謙一氏
【改善事例における主な取り扱い製品】 生鮮食品、有機野菜、アパレル 数多くの3PL事業を手掛ける中、顧客からのさらなる信頼度向上と、新規受託事業のスピーディな立ち上げを目指し、5Sの取り組みとしての独自の進捗看板の運用や、業務マニュアルの動画化、教育効果の見える化等を実施。こうした活動によって得られたノウハウや課題を、社内の検討会で共有化し、これまで各物流現場で個別に行われていた改善活動の横展開を促進することができた。	
発表㉓ 高齢社員・女性社員目線で取り組んだ職場改善～「楽しく、長く働きたい」が聞きたくて!～	
14:50 株式会社デンソーロジテム SCM本部 高棚部品物流センター 部品梱包課 梱包2係 係長 15:10	近藤 羽留奈氏
【改善事例における主な取り扱い製品】 自動車部品 海外拠点組立部品 自動車部品輸出梱包センターでは、高齢者・女性が活躍する職場を目指すも、身体的負担や複雑な手順、労働時間の長さを理由に定着せず苦戦していた。そこで作業者の意見を反映し「楽に・簡単に・早く」の観点から、姿勢改善、IT活用による平易な作業手順、歩行・動作のムダ取りによる工数低減などの改善を3年計画で推進。その結果、作業者が自信を持ち離職率も30%から4%に改善した。	
15:20~15:25	コーディネータ コメント
15:25~15:40	コーヒープレイク

セッションH

<コーディネータ> 松井 憲哉氏 (株)オカムラ物流 取締役 物流企画部 部長
飯田 正幸氏 JILSアドバイザー

発表㉔ 資材・具材の保管・廃棄運用ルール作成、施行による保管スペースの効率化と廃棄品在庫の滞留改善	
15:40 サッポログループ物流株式会社 幹線統括支社 部長 16:00	小野 順平氏
【改善事例における主な取り扱い製品】 即席味噌汁の資材、具材の生産パーツ(カートン、カップ、レトルト具材、調味料等) 廃棄作業と管理の統一フローが無く、倉庫内に廃棄物が点在していた。また、現物の良否ステータス表示も見分けづらく、誤使用のリスクも高まっていた。そこで、荷主や倉庫作業会社に協力を要請し、廃棄管理から作業までの流れを運用ルールとして明確に定めることで、空きロケーション率は約14%拡大、保管効率向上を実現させたほか、廃棄資材が溜まらない仕組みを構築した。	
発表㉕ トラック輸送効率化による出荷準備作業時間の削減と収益改善	
16:00 株式会社UACJ Marketing & Processing 製造部 製品管理課 作業主任 16:20	加藤 謙治氏
【改善事例における主な取り扱い製品】 アルミニウム板製品 (コイル材・シート材) アルミニウム板製品の出荷作業において、ムダな倉庫間移動が多く、また入荷受付から出荷までの作業手順も複雑で、入荷準備に大幅な時間を要していた。そこで、取引先や物流事業者、他部署を巻き込んだ改善活動を展開し、定期的なミーティングを行い、運搬経路の見直しやトラックの積載率向上を進め、年間約300万円のコストダウンを実現した。	
発表㉖ 輸出入全体最適を考慮した一貫物流オペレーションの実践	
16:20 本田技研工業株式会社 部品物流部 浜松海外物流課 チーフ 16:40	丹羽 歩美氏
【改善事例における主な取り扱い製品】 インドネシアで生産するMISS ASSYの構成日供KD部品 インドネシアのトランスミッションに供給するKD部品のコンテナ輸送では、ロスを抱えた状態で輸送が行われていた。そこでトランスミッションの部品特性や現地の業務要件を考慮しない、出し側の部分最適な物流業務設計を見直し、全体最適の観点でオーダー受けから現地生産ライン払い出しまでのオペレーションを改善した。その結果、年間物流費を1.2%削減し、保管スペースの削減も実現した。	
16:45~16:50	コーディネータ コメント
16:50~17:05	【全体講評】 黒川 久幸氏 全日本物流改善事例大会実行委員会 副委員長 東京海洋大学 理事・副学長

参加申込書

申込FAX: (03) 3436-3190

参加申込規定

参加料

参加料金(消費税込み)		両日参加	1日参加
会 員	1 名	36,720円	21,600円
	4人目以降	27,000円	17,280円
会 員 外	1 名	60,480円	32,400円

※会員：日本ロジスティクスシステム協会会員、または日本物流資格士会会員
 ※上記料金には、テキスト代が含まれています。昼食代は含まれておりません。
 ※1社から4名以上参加の場合は、一括でお申込みください。
 ※都合によりプログラムが変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

◆有資格者優待(フォローアッププログラム)

当協会では、有資格者のためのフォローアッププログラムを実施しております。本プログラムは、当協会主催の講座で習得した知識をより深く実践の場で活用できる能力を身につけたいという、有資格者からの強い希望を受けて、当協会認定の資格*をお持ちの方に、当協会主催のプログラムを、優待料金にてご提供するものです。実践力の強化、最新の情報収集の場として、ぜひご活用ください。

◇ フォローアッププログラム参加料(消費税込み)

両日参加:27,000円 1日参加:17,280円

(注)フォローアッププログラムにお申し込み後、参加者が資格をお持ちでない方に変更になった場合は、参加料の差額を請求させていただきます。あらかじめご了承ください。

申込欄の該当保有資格にチェックをして下さい。

※ロジスティクス経営士(経営)、国際物流管理士(国際)、グリーンロジスティクス管理士(グリーン)、物流技術管理士(物流)、物流現場改善士(改善)

参加定員

●各日250名(定員になり次第、締め切らせていただきます)

参加申込方法

●下記の申し込み用紙に必要事項を明記のうえ、FAXにて事務局までお申し込みください。

●「参加証」と「請求書」は参加者の方へ開催日の約1週間前までにお送りいたします。

お手元に届かない場合には、ご連絡をお願いいたします。

【開催日直前のお申し込みについて】

●定員に余裕があるときのみ当日受付も行いますので、事前に事務局に確認のうえ直接会場受付へ申込書または名刺をご持参ください。

●開催間近のお申し込みについては、参加証等は当日会場でお渡しいたします。

参加料支払い方法

●請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。

●お支払いは、原則として開催前日までにお願ひいたします。
 (開催後になる場合は、入金予定日を参加申込書の支払予定日欄に明記してください。)

●振込手数料は、お客様にてご負担願ひます。

【お願い】

●参加予定の方のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。なお、代理の方のご出席も不可能な場合は、右記の規定により、キャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。
 (注)キャンセルはFAXでのご連絡のみ申し受けます。

【キャンセル規定】

開催7日前～前々日(開催日初日を含まず起算)……参加料(消費税を除く)の30%
 開催前日および当日……………参加料(原則として消費税を除く)の全額

ご 注 意

- テキストは会場でお渡しいたします。テキストのみの販売はいたしておりません。
- スライド内容を撮影する目的での写真撮影および講演内容の録音はご遠慮ください。

事 務 局

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディウム3階

TEL. 03-3436-3191 FAX. 03-3436-3190

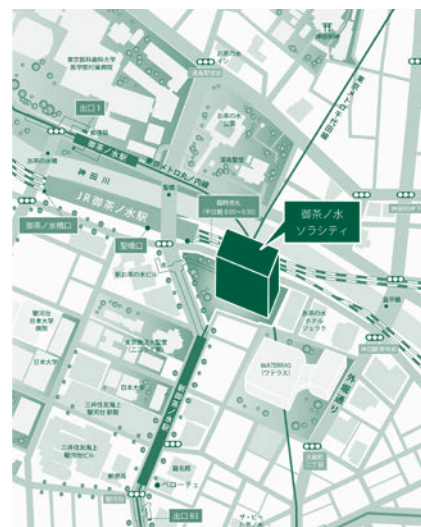
個人情報の取り扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<http://www.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本大会に関する確認・連絡・参加者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

会場のご案内

御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター

〒101-0062
 東京都千代田区神田
 駿河台4-6
 御茶ノ水ソラシティ2F
 TEL. 03-6206-4855



交通のご案内

- JR 中央線-総武線
 「御茶ノ水」駅
 聖橋口から 徒歩1分
- 東京メトロ千代田線
 「新御茶ノ水」駅
 B2 出口(直結)
- 東京メトロ丸の内線
 「御茶ノ水」駅
 出口1から 徒歩4分
- 都営地下鉄 新宿線
 「小川町」駅
 B3 出口から 徒歩6分

※お客様用の駐車場はご用意がございません。ご来場の際は、公共交通機関をご利用くださいませ。

全日本物流改善事例大会2019

開催期日

2019年5月14日(火)

2019年5月15日(水)

フリガナ

会社名・事業所名

会員

会員外

参加料支払窓口

部署名 TEL. () -

FAX. () -

担当者名 支払予定日 月 日 払

参加される日に○印をご記入ください。

保有資格

- 経国
- 国際
- グリーン
- 物流
- 改善

取得期 期

参加者	フリガナ氏名1	フリガナ氏名2	フリガナ氏名3	フリガナ氏名4	所属役職名	TEL	FAX	E-mail	5月14日	5月15日	取得期	期
		〒 -	〒 -	〒 -	〒 -		-	-		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	勤務先住所	勤務先住所	勤務先住所	勤務先住所					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	フリガナ氏名1	フリガナ氏名2	フリガナ氏名3	フリガナ氏名4	所属役職名	TEL	FAX	E-mail	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	〒 -	〒 -	〒 -	〒 -		-	-		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	勤務先住所	勤務先住所	勤務先住所	勤務先住所					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	フリガナ氏名1	フリガナ氏名2	フリガナ氏名3	フリガナ氏名4	所属役職名	TEL	FAX	E-mail	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	〒 -	〒 -	〒 -	〒 -		-	-		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	勤務先住所	勤務先住所	勤務先住所	勤務先住所					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
参加料合計	名 円				協会への連絡事項							

※お願い：請求書は原則として合計金額を参加者の最上段(氏名1)の方にお送りいたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。